



キャンプ場

利用者の皆様へ 駐車場案内

国道330号線、沖縄自動車道北中城ICから

北駐車場/乗用車190台 バス10台

国道329号線から

西駐車場/乗用車100台 バス2台

中城城跡向かい 台グスク 乗用車70台

アカボシゴマダラが やってきた

アカボシゴマダラ

Hestinus assimilis

タテハチョウ科 奄美大島

プロローグ

2024年8月12日、中城村久場台グスクを巡回していた時の事、展望台でフタオチョウの飛翔する姿を撮影する若者がいた。声をかけると琉球大学1年生の村上奏太と名のつてくれた。「飛ぶフタオチョウを撮影するってすごいね」と言うと撮影した画像を見せてくれながら「アカボシゴマダラも撮影した」という。撮影した画像を見せてもらおうと確かにアカボシゴマダラだ。ビックリ、本当だ。翌日、同じ時間に行くと確かにフタオチョウと混じりながら、高い場所を飛び回っていた。

調査開始

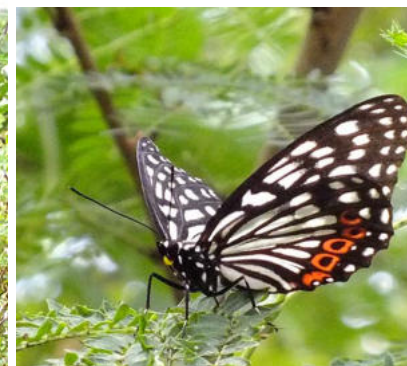
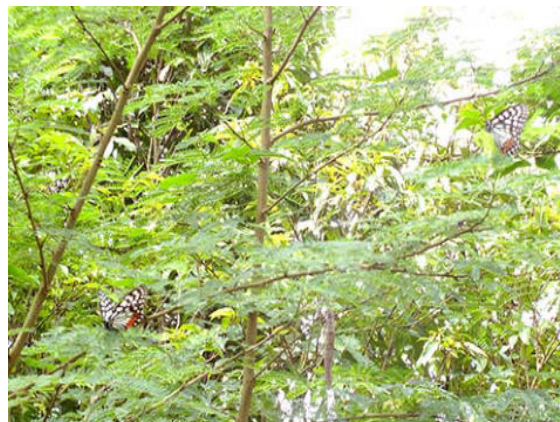
成虫が複数いることが分かったので、数回捕獲を試みたが、見上げるだけで捕虫網は届かなかった。虫仲間の集まりで話題に出したら、翌日「捕った」と2頭見せに来てくれた。その後、虫仲間が十数頭捕獲したようだ。発生しているのではと思い、食草のニレ科クワノハエノキの葉を行くたびに探した。フタオチョウの幼虫は見つかるものの、アカボシゴマダラの幼虫は見つからなかった。村上さんから幼虫が見つかったという連絡が入り、一緒に探しに行く。見つからず。後日同じ場所に行くと、蛹が見つかった。撮影することが出来た。10月26日に成虫2頭目撃を最後に、この年の発生は終わった。その後も幼虫・蛹を探しに行ったが、見つけることはできなかった。

2025年の調査

調査は1月1日から始まった。成虫の初見は4月4日。その後、毎回のように成虫は目撃できた。5月は記録がなく、6月2日から8月現在まで、毎回のように成虫は記録した。成虫の観察のかたわら、幼虫サガシも随時行ってきた。7月1日、待望の幼虫を見つけることが出来、撮影した。すぐに村上さんに連絡し、幼虫を撮影してもらった。

気になるのは、分布の拡大はするのだろうか。6月に沖縄市こどもの国、7月には浦添大公園、嘉数高台公園で成虫が見つかった。今後の分布拡大が注目される。

成虫の翅の斑紋から奄美垂種だということが判明。しかしながら、意図的な放蝶が飛来なのかは分かっていない。



成虫



幼虫

蛹